

授業科目名： 獣医臨床医科学特別演習 B(岩手大 学)		単位数 2 単位	担当教員名： 教授・准教授
			担当形態： 単独
配当年次： 1 年次通年	授業形態： 演習科目	開講形態： 第 1 副指導教員による研究指 導	
授業のテーマ及び到達目標： 履修者各自の研究課題に対して、論文作成上に必要とする実験的な手法について指導し、 履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。			
授業の概要： 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、第 1 副指導教員が履修 者の研究内容に応じて研究テーマに関連する実験上の知識の教授と助言を行い、博士論文の 作成を支援する。			
授業計画： 獣医臨床医科学講座に所属する履修者の研究内容に応じて実験場の知識の教授と助言を行う。 以下のとおり、博士論文の研究テーマに密接に関連し、必要とされる実験的な手法について指導する。 このことを通じて、博士論文に通じる学生の研究テーマに密接に関連する技術、技能を養う。 研究テーマに応じて必要な実験の実施方法を指導する。 実験で得られたデータの管理法、解析法を指導する。 実験で得られたデータと先行研究との比較、研究の限定性を含めた考察を指導する。 学会などでの成果発表を支援する。 学術論文の作成を支援する。  (宇塚 雄次) 獣医神経病学、画像診断、獣医麻酔学、獣医放射線治療、環境放射線 (岡田 啓司) 生産獣医療学、牛、代謝、アニマルウェルフェア、行動、生産性 (高橋 透) 繁殖障害の診断・治療・予防 (山崎 真大) 小動物内科学、獣医血液病学、原虫病 (片山 泰章) 獣医外科学、臓器移植、腎臓病学、整形外科学 (星野 有希) 獣医外科学、臨床腫瘍学、軟部組織外科学			

テキスト：特になし
参考書・参考資料等：特になし
学生に対する評価：受講状況・態度や、実験手技ならびに結果の解釈における習熟度、理解度などにより総合的に評価する。